

平成 20 年 3 月期の連結子会社の経営成績および  
平成 21 年 3 月期の業績予想とグループ経営の基本方針



平成 20 年 5 月 15 日

会社名 ITホールディングス株式会社	上場取引所 東証一部	
コード番号 3626	URL <a href="http://www.itholdings.co.jp">http://www.itholdings.co.jp</a>	
代表者 (役職名) 代表取締役社長	(氏名) 岡本 晋	
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長	(氏名) 浦田 幸夫	TEL (03) 6738-7557

1. 平成 20 年 3 月期の連結子会社の経営成績

平成 20 年 4 月 1 日の共同株式移転による持株会社設立により、当社の 100%子会社となりました T I S 株式会社（以下、「T I S」といいます。）および株式会社インテックホールディングス（以下、「インテックHD」といいます。）の平成 20 年 3 月期の経営成績につきましては、次のとおりです。

(1) T I S の連結経営成績

T I S グループの平成 20 年 3 月期の業績は、T I S で現在継続中の大型案件について、顧客とともに今後の計画の見直しを進めた結果、円滑な稼働開始に向けて追加のテストを織り込んだため、稼働開始時期を大幅に延期し、これに伴って発生する追加費用全額を当中間期に計上した影響を受けました。

しかしながら、T I S における当該大型案件以外の開発案件および主要子会社の業績が堅調に推移した結果、売上高は 199,261 百万円（前期比 5.8%減）、営業利益は 10,432 百万円（前期は 0 百万円の営業損失）、経常利益は 11,170 百万円（前期比 818.4%増）、当期純利益は 4,153 百万円（前期は 818 百万円の当期純損失）となりました。

詳細につきましては、本日付の「平成 20 年 3 月期 決算短信（T I S 株式会社分）」をご参照下さい。

(2) インテックHDの連結経営成績

インテックHDグループの平成 20 年 3 月期の業績は、リース事業の整理などの影響があったものの、主力である情報・通信事業において、金融業、製造業、流通・サービス業等の民間企業の情報化投資が順調に推移したことを受け、ソフトウェア分野およびシステム・インテグレーション分野が概ね堅調に推移した結果、売上高は 123,151 百万円（前期比 6.6%増）、営業利益は 9,541 百万円（前期比 0.5%減）、経常利益は 8,777 百万円（前期比 4.6%増）、当期純利益は 4,520 百万円（前期比 8.9%減）となりました。

詳細につきましては、本日付の「平成 20 年 3 月期 決算短信（株式会社インテックホールディングス分）」をご参照下さい。

2. 利益配分に関する基本方針および平成 20 年 3 月期、平成 21 年 3 月期の配当

当社の利益配分に関する基本方針は、健全な財務体質の維持及び継続的な成長のために必要な内部留保を鑑みながら、長期的な投資に値する企業として、安定的かつ長期的に配当を継続することです。

平成 20 年 3 月期末につきましては、平成 20 年 3 月末日最終の株主名簿に記載または記録されている株主に対して、T I S は 1 株あたり 17 円、インテックHD は 1 株あたり 9 円の期末配当を予定しています。

当社は定款において、会社法第 454 条第 5 項に規定する中間配当を行うことができる旨を定めておりますが、今年度は平成 21 年 3 月期末日を基準日として、1 株当たり 27 円の年間期末配当を予定しています。なお、来年度(平成 22 年 3 月期)以降は、従前と同様に中間期末日および期末日を基準として、年間 2 回の配当を行う予定です。

(基準日)	1 株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期 (予想)	—	27 00	27 00

### 3. 平成21年3月期の当社業績予想

政府、日銀が発表した短期経済観測調査では、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)は低下が見られ、ここ数年積極的であったIT投資に慎重な見方も出始めています。

当社といたしましては、経営統合初年度である今年度を、平成21年4月から開始する中期経営計画のための基盤整備の年として位置づけ、従前TIS、インテックHDが培ってきた高い技術力とソリューションを、今回の経営統合を機に一層、高付加価値なものとするべく努めてまいります。具体的には、売上高、収益向上施策として、「アカウントプランの策定、実行」や「データセンタの一体運用」などに取り組みます。また、継続的に品質向上と効率化を図るために、「バックオフィス業務のシェアード推進」「周辺、重複業務の統合」「業界トップクラスの生産基盤整備」「情報システム統合」などの施策を優先的に推し進めてまいります。

これらの施策により、今年度の業績について以下のとおり計画しています。

#### (1) 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期連結累計期間	160,000	8,000	8,300	3,900	45 15
通 期	340,000	22,000	22,000	11,000	127 36

#### (2) 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	4,200	2,500	2,400	2,400	27 79

### 4. 経営の基本方針

当社は、経営理念を以下のとおり定めました。当社グループは本経営理念に基づいて、平成21年4月から開始する中期経営計画の策定に向け取り組みます。具体的には、グループ各社がその高い技術力と品質により使命を達成することで、新しいグループの企業価値の最大化に向けてたゆまず努力してまいります。

#### 【経営理念】

ITホールディングスグループは、ITを通じた様々なサービスの提供によりリーディング企業グループにふさわしい企業市民となり、お客様、社員とその家族、株主などすべてのステークホルダーから評価いただける企業価値の向上を目指します。

私たちは、グループの企業と社員が共に高く新しい目標にチャレンジする活力ある企業カルチャーを醸成し成長を続けます。

私たちは、グループ力を結集し優れた技術力と品質により、常に最適をお客様に提供いたします。

私たちは、高い企業モラルを堅持し、社会的責任を果たしていきます。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上